

千代田中学校の取り組み

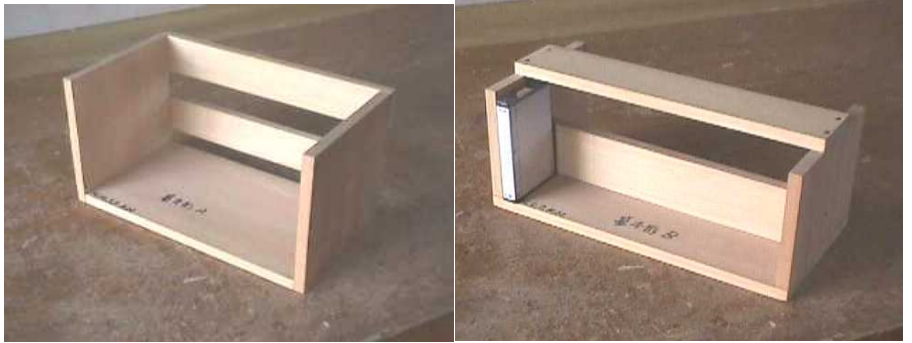
1 研究内容

- (1) 材料と加工の技術における題材開発
- (2) 小中一貫教育の推進
- (3) 環境を大切にする技術

2 具体的な取り組みと実践例

(1) 題材開発

材料と加工の技術では、指導内容の検討、題材開発を中心に研究を行った。1学年では「収納箱の製作」により、木材を中心に指導を行うこととした。そして、その他の素材の加工方法にも簡単に触れることにより木材の加工用素材としての特徴やすばらしさを強調できるものと考えた。



この収納箱は部品数が少なく適当な大きさであること、単面投影図で表示しやすいこと、生徒一人ひとりの思いや願いを実現させることができると共に短時間で仕上げられる題材である。

また、基本題材を2つ用意することによりこれから作ろうとする作品の使用目的や使用条件を満足させる機能や構造、寸法などを生徒自身が考え設計・製作していくことができるようにした。さらに生徒が作品を家庭に持ち帰ったとき、家族から賞賛を受けることにより自作する喜びを実感し、さらなる製作意欲を起すことができると考える。

(2) 小中一貫教育との関わり

主体的な学びの視点から考えると、技術・家庭科においてまずは、基礎基本の定着が重要視できる。この基礎・基本とは、生活していく上で最低限身につけておかなければならないものであり、一般常識にも直結している。それらを主体的に日常生活へ応用・深化・発展するためには、生徒に課題を与え、考えさせることを繰り返すことが大切であると考えます。

また、技術・家庭科においては、中学校入学前から工具等の使用経験をできるだけ増やすことが望ましい。来的には、長期休暇等を利用し、小学生を中学校に招き、ものづくり教室などを行い、中学校入学後の技教育の礎の一端としたいと考える。このためには、小学校の図画工作と連携を密にし、工具等の使用経験を把握した上で題材を考えていかななくてはならないと考える。

(3) 環境を大切にする技術

学習のまとめに（情報の技術）を行い、班別課題学習を設けそれぞれ班ごとにテーマを決め、タブレットを共有して、インターネット等から資料を集め調べ学習を行った。それらを発表させることにより興味・関心の伸長や知識の深化を図った。また、テーマの候補に森林枯渇や省エネルギーについてを盛り込むことにより、環境問題への意識の向上を図った。

3 研究の課題

- ・基本題材を提示したことにより収納するものの形状や大きさを考慮することなく、基本題材の寸法をコピーしただけや友達と同じものを設計しただけの作品が出てしまった。生徒間の作業の進度差が離れてしまった点が今後の課題といえよう。
- ・班別課題学習においては視聴覚機器の故障や発表や聞き手の訓練が不十分で質問や話し合いを深める事がなかなかできなかった。